

# 激動の平成史

～新たなスタートに向けて～

今年4月末で30年にわたった平成時代が幕を閉じます。バブル崩壊で始まった平成はまさに激動の時代でした。2度の大震災、17人の首相と2度の政権交代、グローバル化の進展と格差の拡大、少子高齢化と人口減少、低成長経済の定着、世界第2位の経済大国からの転落、インターネットやスマートフォンの普及による社会環境・産業構造の変化などにより、戦後日本の制度や常識が綻び始めています。また、雇用所得の伸び悩みや将来の不透明化により生活者の価値観やライフスタイルは大きく変化しています。

この30年間で日本はどのように変わったのか。今号の特集では、時代の一つの区切りとして『平成時代』を総括し、新たな時代をスタートするための参考とすべく、3本の論文を取りあげました。

## 平成大停滞期の日本経済

～企業の金融行動と生産性～

飯田 泰之

01 ●

### ネット社会の進展

—インターネットの誕生と進化

～必要と欲望の平成ネット社会の30年を振り返る～

橋本 大也

02 ●

### 生活者1万人アンケート調査に見る

日本人の価値観とライフスタイルの変化

～日本人の生き方はどう変わったか～

松下 東子

03 ●

